

夢洲万博 開幕後、いのち・安全を最優先に 知事選あと2年 対話ひろげ要求あつめて



「明るい会」団体・地域代表者会議
で報告する石川たえ府会議員

明るい会は25日、団体・地域代表者会議を大阪グリーン会館ホール(オンライン併用)で開催しました。はじめに、代表常任幹事の福岡泰治さん(大阪労連議長)から開会あいさつしました。

石川たえ府会議員「維新府政の府議会報告」

議会報告で共産党の石川たえ府会議員は、万博カジノ優先の維新府政の実態を明らかにし、物価高対策や賃上げ支援をすすめ、医療・介護つぶしと国保一元化など「府民いじめの維新政治から府政を府民の手に取り戻そう」と呼びかけました。

参加者からの発言では、新婦人府本部・共産党府委員会・保険医協会・府高教・府職労・枚方連絡会(枚方市職労)・母親連絡会・民医連の8つの団体・地域がそれぞれ活動報告しました。

危険な万博開幕後も「監視体制・情報発信」

有田洋明事務局長は、「万博中止」運動の到達をふまえ、開幕後も「万博反対」の立場から必要に応じて行動を配置することを明らかにし、2年後の知事選に向けた政策要求づくりなど、現時点での考え方として常任幹事会報告しました。

夢洲万博の中止を求める署名は約12万筆を集約し、府・市万博推進局を窓口に提出しました。

さらに、万博の問題点を明らかにし、「万博の中止を」の声を団体・地域での世論と運動で様相を変える状況をつくったことは一定の成果であり、開幕後も危険性は変わらず、「いのちと安全」を守ることを最優先にすすめようと提起しました。

明るい会としては、絶えず「監視体制」「情報共有」をしながら適宜発信し、必要に応じて行動の具体化をはかる構えを示しました。さらに、会場建設費の上振れ、運営費の赤字問題など、公費負担の増大など維新の責任追及を強調しました。

維新の凋落ぶり…知事選まで2年へGO

知事選まで2年の折り返し点を迎えます。維新が進めるカジノ中心の夢洲ベイエリア開発ではなく、いのちとくらし最優先の府政実現に向けて、府民との壮大な対話運動で要求を集めて、知事選の政策を練り上げ選挙に臨もうと呼びかけました。

2年後の知事選を見据えて維新とのたたかいは、「コロナ禍で全国最悪の医療崩壊」「カジノありきの夢洲万博を強行」など、府民犠牲の維新府政からの転換が求められています。二度の「都構想NO」で示した住民共同の力を改めて発揮し、壮大な府民対話で要求をあつめて、政策を練り上げて知事選でたたかうことを呼びかけました。

【世論調査】万博に「行きたくない」約7割

「共同通信」に続き「産経新聞」「FNN」世論調査(22、23日)では、万博に「行きたくない」が7割と増加。この調査では、万博に「まったく行きたくない」44.2%、「あまり行きたくない」23.8%で計68%、「とても行きたい」9.2%、「ある程度行きたい」22.0%です。万博に「とても行きたい」「ある程度行きたい」が近畿では43%。年代別で18～29歳が最も高く45.2%でした。

開幕3日前！みんなで声あげよう

緊急！万博中止を求める宣伝

日時 4月10日(木)12時30分～13時

場所 南森町「りそな銀行前」付近

※チェコ共和国の国営テレビ局より「明るい会」に取材要請。「なぜ万博に反対するのか？チェコの人たちに伝えたい」と宣伝風景を撮影も…。

海外の方も心配！皆さんの参加をよびかけます